



第33期 2020年7月～2021年6月

「強い義務感を持とう！ 義務は全ての権利に伴う」

2020年 クラブ主題 何事も、楽しんでいきましょう

2020年 11月号

- 国際会長主題 価値観、エクステンション、リーダーシップ
- アジア会長主題 変化をもたらそう
- 東日本区理事主題 変化を楽しもう！
- 富士山部長主題 ワイズだから出来る事が有る！
絆にやろうぜ！富士山部！
- 富士会長主題 何事も、楽しんでいきましょう

第33期クラブ役員

会長	高野 亨	監事	井上暉英
A副	小澤嘉道	監事	鈴木靖巳
書記	吉澤廣美	監事	増田 隆
会計	仲澤昭夫	担当主事	金井淳

11月の協調テーマ **ワイズ理解。 ASF。**
ファミリーファスト (TOFを家庭内や、知人、友人、に呼びかけて行う献金)

☆2020年 11月例会☆

と き 2020年11月11日(水) 18:30～21:00
 ところ ホテルグランド富士 (0545-61-0360)
 受付 市川文雄君 小澤嘉道君
 司会 漆畑義彦君

- | | |
|---------------------------|-------|
| 1. 開会点鐘 | 高野亨会長 |
| 1. 開会の挨拶 | 井上暉英君 |
| 1. ワイズソング・ワイズの信条・ | 司会者 |
| 1. 東日本区理事・富士山部部長・会長主題の唱和 | |
| 1. 会長挨拶 | 高野亨会長 |
| 1. ゲスト・ビジター紹介 | 高野亨会長 |
| 1. 食前の感謝 | 次田升勇君 |
| 1. マイタイムアワー (富士クラブ今後の活動等) | |
| 1. 誕生日 | 司会者 |
| 1. 委員会報告 | |
| 1. 監事・書記・会計・事務局報告 | |
| 1. 出席率・スマイル報告 | |
| 1. 閉会の挨拶 | 吉澤廣美君 |
| 1. 閉会点鐘 | 高野亨会長 |

巻 頭 言

76歳の年齢を迎えて

井上 暉英

取り敢えず父より長生きの年になり、今日保健所に麻薬使用の報告にいきました。既に担当者は先約の方と色々報告のやり取りをしている状態でしたが、他の担当者が私の存在に気が付き受付にきてくれましたが、彼は私の後輩で、どうしたかと対応してくれました。麻薬使用の報告の用紙に気が付き、薬剤師の担当に声をかけてくれました。報告書を渡したところ、直ちに内容を見て、報告書のミスを見て、ハンコを押してないことと、今日の日付けがないことと、さらにいくつか書き込みの必要な所を指摘して書いてくれました。さらに、報告書のコピーをとつてくれ自分でキープするようにわたしてくれました。この一連のことはとりあえず、相手は全員わたしの普段前からの知っている人たちでした。この様に相手が知人か そうでないかによりその対応がひどく異なるのが世の常です。

私の残った人生がすべてこのような状態で過ごすことができれば気持ちよくあの世に旅立ってもいいのだかと考えたひと時でした。

HAPPY BIRTHDAY

11月 該当者無し

月例会

在籍会員	15名	例会出席者	名	スマイル基金	円	CS基金	円
功労会員	1名	出席率	%	スマイル累計	19,000円	CS累計	2,340円
担当主事	1名	ゲスト	名	ビジター	0名	総出席者	名

お米が原料のウイスキーが発売されます

もともとウイスキーの原料は大麦やとうもろこしなどの穀類で、ブランデーはぶどう、ラム酒はサトウキビ、そして日本酒、焼酎はお米から作られます。ウイスキーと日本酒、焼酎を別種の酒とする根拠は製造のプロセスにあります。それは糖化という工程の違いにあります。ウイスキーは穀類のでんぷんを麦芽の酵素で糖化します。日本酒、焼酎は麴を使って糖化を行います。そして原料はもちろんのこと、樽もまたウイスキーの香味を決定づけます。昔は樽材はホワイトオークやヨーロッパアンオークが定番ですが、いまではミズナラや杉材そして桜樽などなど。しかしながら、すぐに使えるわけではなく 2 年以上乾燥させてから樽に実際にウイスキーを入れて、長い時間を要する熟成の実験が始まります。樽に詰めるウイスキーの酒質はどのようなものがふさわしいか、あるいは熟成期間は何年ぐらいがいいか、それを探るためさまざまなパターンを試みる熟成の実験ではたった一つの結果を得るためにも何年もかかるのです。どんな急いでも、時の前ではただゆっくり過ぎ去る時間を待つしかないのです。2, 3 年後にはこのお米の原料のライスウイスキーが発売されると思います。その時は皆さんで楽しみながらぜひ飲んでいただきたいと思います。6 年ぐらい前に NHK の朝ドラでニッカウイスキーの創業者竹鶴正考物語が放映されました。それがきっかけとなり国産ウイスキーが品切れになりました。しかしながら最近では少しずつ山崎や白州などで始めましたので秋、冬の夜長にゆったりと楽しんで過ごしては如何でしょうか。せつかくこの世に生まれてきたのですからやりたいことをやり行きたいところに行き、美味しいものを食べ、うまいウイスキーを飲みましょう。



「置かれた場所で咲きなさい」

置かれたところこそが、今のあなたの居場所なのです。時間の使い方は、そのままのちの使い方です。自らが咲く努力を忘れてはなりません。どうしても咲けない時もあります。雨風が強い時、日照り続きで咲けない日、そんな時には無理に咲かなくてもいい。その代わりに、根を下へ下へと降ろして、根を張るのです。次に咲く花が、より大きく、美しいものとなるために。・・・2016 年 12 月、89 歳で亡くなられたノートルダム清心学園の理事長、渡辺和子さんの言葉です。コロナ禍の現在、何もかも戸惑う事ばかりで、仕事や社会活動、生活、そしてワイズ活動さえままならない今、方向性が見えなく何をしようか迷うばかりです。このような時、渡辺和子さんのこの言葉を思い出して何事も前向きに考えることにします。(M)

国際会長ニュース

会員の皆さまへ

国際会長ニュース 11 月号へようこそ。今号では、アレキサンダー奨学基金 (ASF)、IHQ からのニュース (次期国際会長選挙の候補者、ポータルバズ、新型コロナウイルス、新しい研修教材) の記事が掲載されています。「良い話を伝えよう」では、りんご狩りのクラブ活動、Week4Waste (ゴミのための週) の活動事例を紹介しています。新型コロナウイルスの蔓延のため、デンマークからの出張はありませんでしたが、地域会長、次期地域会長、国際事業主査、委員会、タスクフォースとの会合や地域、区、部レベルの多くのバーチャルミーティング等、Zoom でのコミュニケーションが絶え間なく行われている忙しい時期です。

ジェイコブ・クリステンセン

2020~21 国際会長



Week4Waste の取り組み

2021 年 4 月 18 日から 4 月 24 日まで、ワイズメンズクラブ国際協会の全会員は、ゴミ拾いとゴミ問題への意識向上に特化した特別な一週間に参加することを求められています。いくつかのクラブでは、既に早くから活動を開始しています。ロシアとデンマークでは、クラブが街頭や公園でゴミ拾いや清掃活動を行っています。ウルリック・ラウドセン (直前ヨーロッパ地域会長) が Week4Waste の推進をリードしています。ロシア、サンクトペテルブルクのクラブは地元の公園でゴミを拾いました。デンマーク、バアイレ・ヴァイレ・ヴァドステッドクラブは地元の通りのゴミを拾いました。ロシア、エカテリンブルグのメンバーは、地元の公園を清掃し、大量のゴミを集めました。ロシア、キーロフスクのワイズメンは「古紙を集めて木を救おう！」プロジェクトに参加しました。彼らは 470Kg の古紙を集め、5 本の木を助けました。

(添付の写真は割愛しました)



実るほど頭を垂れる稲穂かな

理事メッセージ

東日本区理事 板村哲也

日中は過ごしやすく朝夕は冷え込む時期となりました。これまでもお伝えしてきましたが、10月3日に千葉ウエストクラブの国際協会加盟認証状が伝達され、新会員の皆さまが世界的ボランティア団体の一員として正式に一步を踏み出されました。おめでとうございます。きわめて明るくうれしい出来事で、元気づけられます。東日本区のみな様、また世界の仲間と共に喜び、これが弾みになり、さらに新たな展開が生じることを期待致します。9月末から10月中旬にかけて5つの部大会が開催されました。難しい環境の中、それぞれが工夫を凝らし実施されました。中には対面とリモートのハイブリッドというチャレンジングな部大会もありました。仲間の久々の再開でワイズの良さを再確認されたのではないのでしょうか。部大会の開催も大きな変化を余儀なくされましたが、実際にやってみると新たな発見があり、考えていたよりはるかに多くの事を学び、自分が変わったと感じられたのではないのでしょうか。結果のよし悪しに拘われず、全てが学びとしてプラスになったのではないのでしょうか。学びのネタはどこにでもあり、学ぶことに事欠きません。学びに年齢制限はありません。学び続けることにより知らず知らず若さを保つのではないのでしょうか。長寿の時代、気負わずに楽しく学び続けたいものです。今年度も早や3分の1が経過しました。厳しい環境の中、これまで通りにできない事の理由を探るのは簡単ですが、一つでも二つでも前向きな事、新しいことを探し取り組んでいきましょう。11月は「ワイズ理解」の強調月間です。この機会に改めてこれからの時代に合ったワイズの在り方などを考えてみましょう。



秋風になびく道端のコスモス(富士市新田付近)

ワイズ理解

～ワイズデー(11月10日)にちなんで～

東日本区理事 板村哲也(東京武蔵野多摩)
1928年11月10日に、日本で最初のワイズメンズクラブ「大阪ワキズメンズ倶楽部」が国際協会に加盟を認証されました。日本区(当時)ではこれを記念して、1993年にこの日を「ワイズデー」と決めました。これ

により11月を「ワイズ理解」の強調月間としています。日本にワイズメンズクラブが誕生して92年、この間にワイズを取り巻く環境、人の考えと行動様式は大きく変化しました。そしてワイズ(メンズクラブ)は?変化(する環境)に適応しないものは非とも生物も組織も衰退、滅亡します。ワイズも例外ではありません。ワイズデーを改めて問うてみましょう。ワイズとは何か。これからの時代に合ったワイズの在り方は? Change! 2022 推進プロジェクトでアクションプランIIが打ち出されています。これをご参考の各部、クラブで会員増強と発展・拡大に尽力されることを期待しています。

ASF・ファミリーファスト

東日本区 地域奉仕・YMCA サービス事業主任
小原史奈子(東京たんぽぽ)

ASF 献金へご協力をお願い

皆様から区に献金頂いた ASF 献金は(CS 献金と合わせてその 10%をワイズメンズクラブ国際協会本部へ献金として送金され、世界 YMCA 同盟のチェンジ・エージェント研修費支援等、世界レベルの YMCA スタッフやユースリーダーの研修に用いられています。ファミリーファスト(FF)は東日本区独自に取り組んでいる国内の献金プロジェクトです。タイム・オブ・ファスト(TOF)が例会での食事を抜き金額相当分を献金するのに対し、ファミリーファストは家庭内や、友人、知人に協力を求め食事代を献金し、東日本区内の HIV/AIDS にかかわる活動に用いられます。FF 献金目標はひとりあたり 500 円以上。エイズにおける教育や予防、治療支援、情報提供の機会をお伝えください。

新しい国際プロジェクトのご紹介

(国際会長ニュースでも掲載しています)

「Week4Waste」(ゴミのための週)ワイズメンズクラブ国際協会は、ジェイコブ・クリステンセン国際会長より、国際レベルの新しいプロジェクトとして、「Week4Waste」を採用したことが発表されました。目的は、身の回りのゴミ拾いを世界中のワイズ全員がボランティアやパートナーと力を合わせ一斉に行い、地球をきれいにしよう、というプロジェクトです。1 回目は 2020 年 9 月 19 日に行われ、次は 2021 年 4 月 18 日から 24 日をワイズクリーンアップ週間として計画しています。その際にはぜひ、ワイズのロゴが入ったものを身に付けて地域へのアピールをお願いします。



富士クラブでは毎年クリーン大作戦を実施しています。(写真は 2019 年 4 月 14 日富士市役所前を清掃作業中)

秋に漂う魅惑の香り ～金木犀～



小潤井川沿いに漂う金木犀の魅惑の香り

秋になるとどこからともなく漂ってくる金木犀の甘い香り。金木犀は公共緑化樹木、生け垣、記念樹、鉢植えなど幅広く用いられている樹木です。なぜ、金木犀という名前がついているのでしょうか。金木犀は芳香剤としてもおなじみの強い香りを放つ花が特徴。香りは遠くまで届くことから古くは「千里香」と呼ばれていたようです。秋にオレンジの小花をいっぱいつけた姿は、日差しを受けると名前の通り金色に輝いて見えます。原種の銀木犀が白い花をつけるのに対して花が金色（オレンジ）の花を咲かせることから金木犀になったようです。モクセイの漢字名は「木犀」なのは、木の樹皮が動物のサイの皮膚に似ていることから犀（サイ）という字がきているようです。しかしサイとは全く想像がつかない可愛い花です。

他クラブ、他団体におけるコロナ禍の活動

毎日発表されるコロナの陽性者数が気になり、日常生活も三密、マスク、手洗い、うがい等に気を遣い、住みにくい世の中になったものです。ワイズも例会や事業がしばらく無いと、なんとなく疎遠になりメンバーの顔すら忘れそうです。それでなくても物忘れが多くなる年齢ですから注意！注意！ 11月例会のマイタイムアワーは「富士クラブの今後の活動について」という事なので、参考までに他クラブ、他団体のコロナ禍の中での活動を調べてみました。

- 青少年キャンプ教室が中止、その余剰金で市にテント2張り寄付。
- 例会開始前に参加者で会場の周りのゴミ拾い。7月から続けています。
- 授産施設にスタンド式スプレー式消毒器を寄贈
- 地元の医療機関に消毒用エタノールを寄贈
- メンバーがクリアファイルで作った医療用フェースガードを地元の病院と高齢者施設に寄贈
- 放課後児童クラブへおやつ、消毒液、体温計、除菌スプレー等を寄贈
- 公園清掃後その公園で例会開催。清掃例会
- 地元海岸のごみ清掃作業。地元中学生と共同で、等

YMCAだより

富士山 YMCA 金井 淳

11月となり、朝晩の冷え込みが0℃近くになる日も多くなってきた富士山 YMCA では、Go To キャンペーンとキャンプブームの影響で、これから閑散期の時期になるにも関わらず、例年以上の賑わいを見せています。初めて訪れるお客様が YMCA のファンとなってもらい、お客様としてだけではなく、YMCA 運動の担い手とまでなってもらえるよう、サービス向上、施設整備、そして、この地域に YMCA がある意義をアピールしていきたいと思ひます。



深まる秋の富士山 YMCA から眺める富士山

健康だより

身体を健康に保つ ポリフェノール

ポリフェノールは、あらゆる植物に含まれる苦みや色素の成分で、自然界に5000種類以上あると言われてています。ポリフェノールは、老化のもとになる活性酸素の働きを抑える抗酸化作用をはじめ、脂肪の燃焼や更年期障害の緩和、美肌効果など、身体を健康に美しく保つことが期待できる成分です。ポリフェノールはさまざまな種類があり、身体への健康効果もさまざまで、リンゴ、ショウガ、ゴボウなどがありますがここではリンゴを紹介します。

リンゴで老化もウイルスも防御！

リンゴの皮に含まれるカテキンは、抗ウイルス作用や抗ガン作用、コレステロールや血糖値の上昇を抑える作用、肥満予防が期待できます。殺菌抗菌作用、虫歯、口臭予防の作用もあると言われてています。さらにリンゴには、肥満や糖尿病、動脈硬化などの予防や、育毛、抗アレルギー作用などの効果があるプロシアにジンも含まれています。尚、リンゴをお買い求めの際は仙台青葉城ワイズメンズクラブが毎年販売しています「ワイズリンゴ」を是非どうぞ。



